

私学助成署名推進ニュース

青森私教連 県内全私学15校分の学費滞納調査結果を記者発表TV放映を含め大きく世論化

11月20日、青森私教連が「2017年度9月末 私立高校の学費滞納調査」結果を青森県政記者会で発表しました。県内私学17校中15校から調査結果を集めてのこの日の発表となりました。

学費滞納率が全国平均(中間結果)を大きく上回る状況に県内マスコミも注目し、5紙1TVが報じました。

映像はこのURLで見ることができます。

<http://www.aba-net.com/news/news002.html>

私立高、経済理由の退学、ゼロ

今年4～9月 学費滞納は2.5%

2017年11月21日 朝日新聞

家庭、父子家庭で経済的に苦しい「一扶養家族が多い」などと理由を説明。滞納者には、卒業見込みが出ず、就職活動ができない生徒もいたという。県私教連によると、県内の私立高生徒のうち、年収250万円未満の世帯は全体の24.4%で、全国で最も多かった。小野寺委員長は「就学支援金の金額を拡充するなどの対策が必要」と訴えた。(山本知佳)

2017年11月21日 東奥日報

私立高 学費滞納 1校14.3人

4～9月、前年比横ばい

経済的な理由で4～9月の半年間に、県内の私立高校で3カ月以上、学費を滞納している生徒数は1校当たり14.3人で、前年同期と横ばいの状況にあり、依然として改善傾向が見られないことが20日、県私立学校教職員組合連合(青森私教連)の調査で明らかになった。青森私教連は「現行の就学支援制度のままでは改善は期待できない」と指摘している。

保護者は学費捻出苦慮

校長ら指摘

「学費を滞納する生徒が減った」という実感はない。県内の私立高校の校長らは、国と県の就学支援制度を利用しながらも、学費の捻出に苦慮している保護者が多いと指摘した。全国私立学校教職員組合連合によると、県内の私立高校に通う生徒の学費滞納率2.5%は、全国平均と比べて1.56%も高い。全国で2%を超えているのは本県や岩手、宮城など5県に上る。県私立学校教職員組合連

私立高学費滞納率2.5%

青森、全国平均上回る

青森県私立学校教職員組合は20日、県内の私立高校で今年4～9月に経済的理由で退学した生徒が4年ぶりにいなかったと発表した。前年同期の退学者は1人だった。調査は9～10月、県内の私立高17校を対象に実施

3カ月以上滞納214人

4～9月 青森県私教連が調査

青森県私立学校教職員組合による全国調査(速報値)の調査結果は20日、県内私立高で今年4～9月に学費を3カ月以上滞納した生徒は214人、2.5%。前年同期比0.09%減だった。調査は、県内の私立高4校のうち3校(347人)を対象に2～5月、年度末までの期間の学費滞納率を調査した。3カ月以上滞納した生徒は15校(8565人)が回答した。

学費滞納率、平均上回る

高校中退4年ぶりなし

県私立学校教職員組合は20日、今年度上半期(4～9月)の私立高生の学費滞納率と経済的理由による中退調査の結果を発表した。3カ月以上の学費滞納率は高校で0.99%改善して2.5%から回答を得た。学費の滞納状況は、3カ月以上が中学で3人(滞納率0.86%)、高校では214人(同2.5%)だった。このうち6カ月以上は中学校で1人(同0.29%)、高校は74人(同0.86%)。一人親家庭で兄弟姉妹がいる場合、滞納しているケースが多いという。経済的理由による高校の中退者は4年ぶりに0人だった。しかし、回答を得られた高



記者発表する小野寺委員長と蒔苗書記長 (ABA 青森朝日放送 Web サイトの画像より)

2017年11月21日 デーリー東北

2017年11月21日 河北新報

全国の記者発表日は 11月30日(木)に決定しました